



真鶴中学校だより 第二七四号

鶴からの手紙

2025
2.25
責任者
市川 麻美

あとひと月あまづで…

三年生は公立高校受験を終えて、特別日課がスタートしています。一、二年生は最後の定期テストを終えて、ほっとしたところでしょうか…。今年度も一年間の総まとめをするときが来ました。(三年生は三年間、です) 昨年もこの時期に書きましたが、振り返るといつも思うのは、「時のたつのは本当に早い」ということです。三年生は中学校生活も残すは二週間あまりです、是非大切に過ごしてください。

先月、三年生との面接を行いました。毎年行っていたので三回目となるわけですが、本当にしっかりと成長したことを感じられる時間でした。二年生はこれから始めます。一年生は一学期に行っていますが時間がとればもう一度話したいと思っています。よろしく願います。

一学年進級する前に、色々な場面でのやるべき事をできて当たり前と思えるように準備してほしいと思っています。心も体も大きく成長した

この一年、自分をさらに律することができるようになってほしいです。自分のやるべきことを考えると同時に他を思いやることを…。

二年生 性教育講演会



二月五日(火)、誕生の喜びや思春期の体の成長について、真鶴町国保診療所の大平祐己先生、助産師の平井結さんをお招きしてお話を聞きました。実際に赤ちゃん(人形)の抱っこや妊婦体験をさせていただきました。また命に関わるお仕事に直接携わる方からのお話は大変貴重であると同時に重みがあり、生徒の真剣な表情が印象的でした。

〈二年生徒の感想より〉

知らないことだったので、大切なことを知れてよかったです。この授業を受けて、小さいころからこま

で育ててくれたことにとても感謝の気持ちでいっぱいになりました。

性教育の授業を受けて、初めて知るような内容がたくさんあり、知っていた方がいいような内容ばかりだなと思いました。今後に生かせそうなものばかりだったので、忘れずに自分の身を守ることに活用したいなと思いました。

……



自分は知識がある方だと思っていたけど、講習を受けてみると実際知らないことがいくつもあってとても勉強になった。体のことだけでなく、その体とどうやって関わっていくか、人との付き合い方についてもお話があり、ぜひ参考にしたいです。

生徒会レクリエーション「全校ドロケイ」

2年生を中心とした生徒会本部が、「入試や卒業を控えた3年生と、一緒に楽しめるイベントを！」と考え、「全校ドロケイ」が行われました。晴

天とはいえ大寒波の最中で、初めは「寒い」「外に出たくない」と言っていた生徒も、いざ始まると元気に、楽しく参加していました。1年生から3年生まで、みんな楽しんでるのは、真鶴中学校の素敵なところですね。企画してくれた生徒会本部の皆さんに感謝です。



一年生 職業人講話

キャリア教育の一貫として、二月七日(金)、一年生が真鶴町で働いている方のお話を聞きました。今回のゲストティーチャーは、町内でラーメン店を営まれているデビット伊東さんです。

お話では夢を持つことの大切さ、そして夢に向かって学ぶことの大切さなど、たくさん学びを得ることができました。また生徒からたくさん質問がなされましたが、どの質問にも本当に丁寧に答えてくださいました。お忙しい中、おいでくださってデビット伊東さん、ありがとうございました。

へ生徒の感想より

デビット伊東さんはとても有名で、人気者なので人生ミスなんてしていいと勝手に思っていたけど、デビット伊東さんも失敗をして有名になっていて、改めていっぱい失敗して、夢に向けて頑張ろうと思いました。

一年一組 鈴木 凛也

将来の夢の時にデビット伊東さんが言ってくれたアドバイスがとても背中を推してくれて勇気が出たので将来どうなるかわからないけど今頑張れることはやりたいです！

一年一組 春原 みくに

夢を叶えるには『なんて?』と思うことと、今現在の積み重ねが大切だと分かった。デビット伊東さんにいろんな本を読んでいろんな言葉を知ることが大事だと教えてもらったので図書館に行って本を読みたいと思った。

一年一組 露 英志郎

みんな意外な夢ややりたいことがあることに驚いたし、デビット伊東さんの話はこれからの人生にとって



も大切なことだと思つたし、やりたいことを諦めずにやってみようと思います。

さんが教えてくれたので夢を諦めず生きていきたいと思いました。

一年一組 吉野 惺巴

防災学習DIG

総合的な学習の時間に、防災学習DIG(ディグ)を行いました。

町の防災マップを見ながら、真鶴町の白地図に、災害に関する情報を書き込んでいきました。そして危険箇所や災害時の避難場所などの確認や、災害時にどう行動すればよいかなどを考え、学びました。



自分の住んでいる場所にはどんな災害のリスクがあるか、また災害の際はどこに避難すればよいかなどについて、生徒たちはグループごとに



言葉を大切に

2月の保健委員会の取り組みで、各クラスのふわふわ言葉、チクチク言葉集めが行われました。ふわふわ言葉とは相手を優しく励ましたり、安心させたりする様な、温かく前向きな言葉のことです。

反対に、チクチク言葉とは相手を傷つけたり、不快な気持ちにさせたりするような言葉のことです。

自分たちが普段使っている言葉について振り返り、言葉を大切にしていこう、ということで、学校生活で耳にしたふわふわ言葉、チクチク言葉を、生徒たちが記録してカウントしました。

取組を行った保健委員長の言葉から

どの学年も、ふわふわ言葉の種類の方が、ちくちく言葉の種類よりも多く集まりました。

ですが、普段生活していると、ちくちく言葉の方が多く耳にする印象でした。皆さんはまるであいさつのように「うざ」「きも」...などの言葉を使っていませんか?皆さんは気軽に使っているかもしれませんが、このような言葉を使うと言われた相手だけでなく、その周りの人も嫌な気持ちになります。これからは生活の中でふわふわ言葉を使えるようにしていきましょう!そしてみんながHappyに過ごせるようにしましょう!

集まったふわふわ言葉(一部)

ありがとう、じゃあこうしたら?、それいいね、大丈夫? スゴ! ドンマイ! 最高! 天才じゃん! さすがだね!

調べたり考えたりして防災マップを作成していました。1年生から3年生まで、全校で行っていますので、ぜひご家庭でもお子さんと話題にして、災害時に命を守る行動について、今一度確認していただければと思います。

DiGとは?

災害の(Disaster)の「D」、想像力(Imagination)の「I」、ゲーム(Game)の「G」とって「DIG」と呼ばれています。身近に生活する場所で防災上役に立つ情報を地図中にマークしながら地域の災害特性を浮かび上がらせ、実際に災害が発生したときにいかに判断・行動して自らの命を守

り、周囲と協力できるか考える活動。



消防庁紹介ページ→